

日吉ダムと渇水対策の効果(H21渇水)

(独)水資源機構日吉ダム管理所

日吉ダムからの補給

8月中旬以降の少雨により、日吉ダムから1,100万m³(大阪ドーム 約9杯分)の水を補給しました。これにより、9月30日には貯水率が28.3%まで低下しました。

台風18号(10月7日～9日)に伴う降雨で貯水率は、ほぼ満水の状態に回復しました。
大阪ドームの容量を120万m³として算出



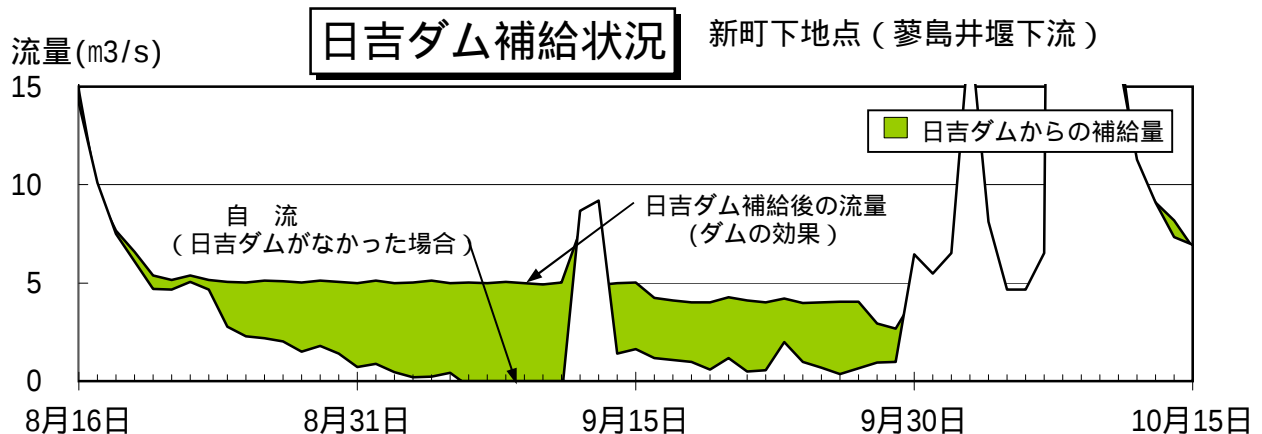
貯水位 標高178.36m(貯水率98.8%)



貯水位 標高169.53m(貯水率29.1%)

日吉ダムの効果

このグラフは、日吉ダムより約15km下流のダムからの補給基準地点である新町下地点の水量を比較したものです。



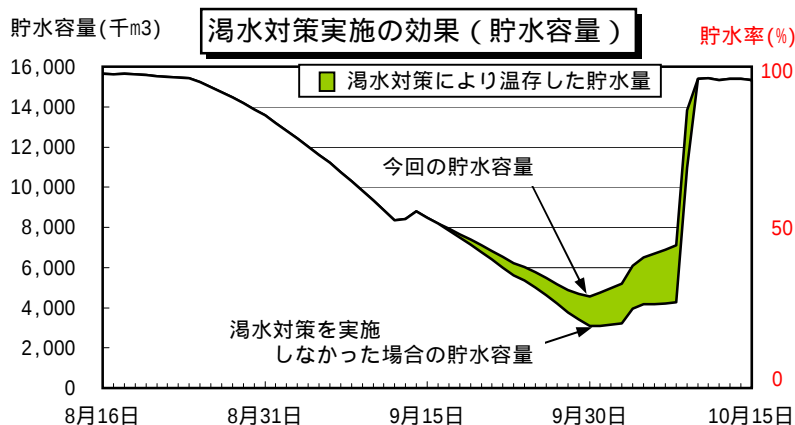
桂川は日吉ダムからの補給によって安定した流れになり、水道用水や農業用水等の利用、河川環境を保全することができました。

日吉ダムから補給しなかった場合は、9月上旬頃に川の流れが途切れる状況になったものと考えられます。

渇水対策の効果

貯水率の低下に伴い、利水者等でダム放流量の削減や取水制限等の調整が行われ、ダムの水を温存することができました。

これらの対策を実施しなかった場合は、9月下旬に貯水率が20%を下回ったものと考えられます。



渇水対策の経過

	放流制限	取水制限	貯水率
	新町下確保量 ¹	上水道 かんがい	対策時点
9月16日	4.0m ³ /s	自主節水	50.5%
9月28日	2.0m ³ /s	20% 30%	29.9%
10月8日	解除(5.0m ³ /s)	解除 解除	77.1%

¹ 新町下地点確保量 5.0m³/s(通年)

渇水対策に
ご協力いただき
有り難うございました。